

3つのポリシー

短期大学部

〔ディプロマポリシー〕

短期大学部では、建学の精神「学園の信条である『親切』」を根幹として、個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏った、よき家庭人であり力強い職能人としての女性を育成することを踏まえ、深い専門の学芸を教授研究し、職業又は实际生活に必要な能力を養うと共に、高い教養と高潔な品格を身につけた良き社会人を育成することを教育目的としています。

この教育目的を達成するため、短期大学部で卒業時において学生が修得すべき資質・能力は、下記の3点とします。

1. 自ら構築した審美眼および思考に基づき、創造力豊かに自己表現ができる。
2. 主体性を持って、人間・社会・自然における多様な課題を発見し、その課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
3. 他者への思いやりの精神を持ち、コミュニケーション能力を発揮し、多様な異文化を享受して社会性を高め、グローバルな視点に立って思考することができる。

〔カリキュラムポリシー〕

短期大学部では、教育目的である「よき家庭人で力強い職能人」を実現するため、かつディプロマポリシーで提示した資質・能力が修得できるために、初年次教育・キャリア教育を含む「全学共通科目」と各学科の「専門科目」にて、学修課程を構成しています。

1. 自らの審美眼や思考を構築でき、人間・社会・自然における多様な課題が発見でき、他者および異文化の多様な思いや言動を享受できるようになるために、「全学共通科目」「専門科目」の講義科目を中心に、幅の広い知識を学ぶ。
2. コミュニケーション能力を発揮し、創造力豊かに自己表現ができるようになるために、「専門科目」の演習科目・実習科目を中心に、専門分野の技術を学び、自己の表現力を磨く。
3. 多様な課題について分析・解決でき、他者と自己および多様な文化が融合できるようになるために、「専門科目」の演習科目・実習科目を中心に、思考力・判断力を養う。

全ての学修課程において、学生が主体的に学ぶ姿勢を養うことを基本とします。そのために、アクティブラーニングなどの能動的学修方法を充実させ、プロセス評価および正課外学習で得た汎用的能力を含む総合的な視点に立つ学修成果の評価を行います。また、GPAを活用して、学修成果を振り返りながら、学生指導を行います。

〔アドミッションポリシー〕

短期大学部では、「学園の信条である『親切』」を根幹として、個々の人格を陶冶し、かつ高い教養を身に纏った、よき家庭人であり力強い職能人としての女性を育成することを踏まえ、深い専門の学芸を教授研究し、職業又は实际生活に必要な能力を養うと共に、高い教養と高潔な品格を身につけた良き社会人を育成することを教育目的としています。

この教育目的を達成するため、生活学科と保育学科の2学科を設置し、生活学または保育学の専門的な知識・技能とともに、日常生活に欠かせない諸知識・技能を教授しています。そして、学生たちが短期大学部の教育を理解し、「よき家庭人で力強い職能人」を実現するために、諸知識・技能を修得しようという強い意欲を持ち、自主的な姿勢で学習ができる人材を求めます。

1. 人間・社会・自然における多様な事象に、また他者および異文化について、興味を

- 持ち、主体的に学ぼうという意欲がある人材
2. 人間・社会・自然における多様な事象に、また他者および異文化について、理解できるために必要な基礎学力を有している人材
 3. 自己の考えを、コミュニケーション能力を発揮し、他者に伝えようとする行動力を培おうとしている人材

生活学科

[ディプロマポリシー]

生活に関する領域について、それぞれの専門的立場から貢献できる能力を備えつつ、理論と実践の両面から学びを探究して、先人の残した体系的知識を体得した学習成果を通して、将来に展開するための考え方や技能を修得した者に、短期大学士(生活学)を授与します。

具体的には、短期大学部生活学科で卒業時において学生が修得すべき資質・能力は、下記の3点です。

1. 自ら構築した審美眼および思考に基づき、創造力豊かに家庭生活・社会生活の場において自己表現ができる。
2. 主体性を持って、生活学および情報・ビジネス・被服・食物の各分野についての専門的知識・技能を修得し、かつ生活学を理論と実践の両面から探究した立場から、人間・社会・自然における多様な課題を発見し、その課題について分析・解決し、人間として自立して生きていくことができる。
3. 家庭生活・社会生活の場において、他者および異文化の多様な思いや言動を享受し、コミュニケーション能力を発揮して、グローバルな視点に立って社会性を高めることができる。

[カリキュラムポリシー]

生活学および情報・ビジネス・被服・食物に関する諸領域について、それぞれの専門知識・技術を身に付け、創造性豊かで魅力ある人間として、社会で活躍できる人材の育成を実現するため、家庭生活や現代社会、情報社会に関わる生活学およびITリテラシー等に関する「学科基礎科目群」と、各分野での専門性を活かした「学科専門科目群」により授業を段階的に構成しています。

1. 生活学の視点を基礎に、情報・ビジネス・被服・食物の各分野およびそれらの総合的・学際的な視点において自らの審美眼や思考を構築し、人間関係・社会情勢・自然環境における多様な課題を発見して、自分と異なる感性や外国文化の諸相を享受できるようになるために、講義科目を中心に、幅の広い知識を学ぶ。
2. 自己の創造力を育み、豊かな感性で、最適で持続可能な生活を実現するための専門能力を培うため、情報・ビジネス・被服・食物の各分野を主体的に選択し、各分野の技術を演習科目・実習科目を中心に学ぶ。また、主体的学修講座など主体的で対話的な深い学びを通して、地域社会に向けて活躍できるよう、自己の表現力および行動力を磨く。
3. 家庭生活・社会生活および情報・ビジネス・被服・食物の各分野に関する多様な課題について分析・解決でき、他者と自己および多様な外国文化が融合できるようになるために、演習科目・実習科目を中心に、思考力・判断力を養う。

全ての学修課程において、学生が主体的に学ぶ姿勢を養うことを基本とします。そのために、アクティブラーニングなどの能動的学修方法を充実させ、プロセス評価および正課外学習で得た汎用的能力を含む総合的な視点に立つ学修成果の評価を行います。また、GPAを活用して、学修成果を振り返りながら、学生指導を行います。

[アドミッションポリシー]

1 教育目的・人材育成目標

生活学を理論と実践の両面から探究し、人間生活の知識を習得すると共に、新しい時代に相応しい社会生活の知識と技術を身に付け、創造性豊かで魅力ある人間として、社会で活躍できる人材の育成を教育目的としています。

その教育目的を達成するため、生活学の視点を基礎に、情報・ビジネス・被服・食物の各分野およびそれらの総合的・学際的な視点と専門的知識・技術を身に付け、かつ創造性豊かに、何事にも真面目に積極的に取り組める人材育成を行っています。

- (1) 生活学と情報・ビジネス・被服・食物の各分野およびそれらの総合・学際について、また他者および外国文化について興味を持ち、主体的に学ぼうという意欲があり、最適で持続可能な家庭生活・社会生活の実現に貢献できる人材
- (2) 人間関係・社会情勢・自然環境における多様な事象に、また他者および外国文化について、理解できるために必要な基礎学力を有する人材
- (3) 自分で創造したことを表現したり、コミュニケーション能力を発揮したりして、他者に伝えようとする行動力のある人材

2 求める学生像

- (1) 知識・技能：家庭科および情報科目をはじめ、高等学校での授業科目を幅広く履修し、十分な基礎学力をもつ者
- (2) 思考力・判断力・表現力：多様な情報収集ができた上で、自分の考え・意見を作り出し、それを表現できる者
- (3) 主体性・多様性・協働性：
 - ・専門的知識・技能の習得のため、関連する資格取得等に目標を置き、合格に向けて意欲的に取り組む者
 - ・地域貢献活動やボランティア活動等に積極的に参加できる者
 - ・さまざまな課題等を最後まで取り組み、期日までに作成・提出できる者